

講義コード	21H0122101	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	須崎 成二	開講期	2期
科目名	身近な環境と人間生活/風土と人間生活								
履修前提条件									
授業の目的	風土とは気候や地形、地質、植生など自然環境の総体である。人間生活は風土への適応の結果ともいえ、人間生活の風土へ介入の結果が今日の「環境問題」を引き起こしている。そして「環境問題」は温暖化、大気汚染だけでなく、身の回りの自然環境でもみられる。とくに本講義では、身の回りの自然環境で起こる様々な問題を取り上げ、問題が起こる背景や仕組み、読み解く視点について概説することを目的とする。								
到達目標	環境問題対策 大気成分などの測定なのか？計るだけで、誰かが引き起こした環境問題は改善されるのか？「大きい」ものも「小さい」ものも、互いに独立しておらず、それぞれが複雑な因果関係のなかで生じている。この因果関係を読み解く視点として地理学独自のマルティスケールに捉える方法を習得する。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業内容に関連する新聞記事やニュース等を確認すること。各回の題材となった文献は授業後に読んで理解を深めること。この科目では60時間以上の授業外学修を行うこと。								
授業計画	<p>第1部 身近な環境への地理学的なアプローチ</p> <p>【第1回】人間からとらえる自然 - 関係性の地理学から環境史へ - (1) 【第2回】人間からとらえる自然 - 関係性の地理学から環境史へ - (2)</p> <p>第2部 環境史と居住史</p> <p>【第3回】低地居住の過去・現在・未来 - (1) 【第4回】低地居住の過去・現在・未来 - (2) 【第5回】低地居住の過去・現在・未来 - (3) 【第6回】低地への適応 (1) 【第7回】低地への適応 (2) , 砂漠に住まう (1) 【第8回】砂漠に住まう (2)</p> <p>第3部 人為的改変</p> <p>【第9回】焼畑と山地植生 (1) 【第10回】焼畑と山地植生 (2) 【第11回】世界遺産の保全と商業利用 (1) 【第12回】世界遺産の保全と商業利用 (2) 【第13回】授業内テストと解説とまとめ</p>								
成績評価の方法	13回目に実施する授業内試験100%を基本とし、その他講義への参加姿勢などを加味して総合的に評価する。授業出席回数が10回以上のみ成績評価の対象とする。								
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対して適宜コメントをする。								
授業実施形態について	原則、対面授業で進める。状況によりオンラインツールを用いて授業を行う場合がある。								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『『自然と人間の環境史』』	宮本真二・野中健一編	海青社	2014	9784860999209					
教員からのお知らせ	参考書の購入は必須ではないが、とくに興味を惹きつけられた学生は手元に置いておく方が学修効果は高い。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部・学科で定めるオフィスアワーにて対応する。								
アクティブ・ラーニングの内容	授業内の意見共有など。								
実践的な教育内容									
その他									